

平成 26 年 6 月 9 日

小野寺委員

今、長友委員から G C C について何点か質問がありましたけれども、私も今日の資料の中に国際戦略強化におけるエンジンというふうに位置付けられているこの G C C について、何点かお伺いをしたいと思います。

我が会派も早い段階から、F D A ですとか、E M I ですとか、そういったところとの連携が必要だというふうに主張していましたので、県主導で G C C が設立されて、大変活発に活動しているというのは非常に望ましいと思っています。

まず最初に、確認なんですけれども、設立から 1 年ちょっとたちましたが、会員となる企業や団体は現在どのぐらいの数になりましたでしょうか。

特区連携担当課長

G C C の設立時は会員は 8 社でございましたが、今年の 6 月 1 日現在で 15 社となっております。

小野寺委員

これは以前、私たちの議論の中で会派から意見をさせていただいた中で、正会員とか準会員とかそういった仕組みをつくってはどうかという話もあったんですけども、確認のためにお聞きしますが、これは皆さん正会員、同じ立場で 15 社ということよろしいのでしょうか。

特区連携担当課長

現状、正会員と準会員ということに 2 段階に分けております。その切れ目と言いますのは、いわゆる中小企業と大企業で、その辺は体力が違いますので、具体的に会費の部分、あとはサービスの部分で若干差があるということですが、現状では 15 団体ありますが、そのうちの 2 団体については準会員という形で会員に入らせていただいているといった状況でございます。

小野寺委員

先ほども長友委員のお話の中でも出てきましたが、昨年 11 月に G C C がシンガポールとの M O U を締結しました。政府機関と M O U を締結して、その後約半年が経過して、その中でビジネス展開というのはどんな形に今なっているのか、お答えできる範囲で結構です。

特区連携担当課長

G C C の加入企業とのビジネス展開ということですが、現地において具体的なビジネス展開が進んでいるものと承知しています。個別のことにつきましては、個別の企業活動の内容は余り詳しくお答えすることはできませんが、一例としまして、シンガポールでの医療機関の登録に向けて具体的な調整を進めているケースや、現地の公的企業との具体的な連携を進めているケースなどが進行していると把握しているところです。

小野寺委員

そもそもの話なんですけれども、このGCCの会員企業、それ以外の企業でも結構ですがビジネスの目から見た時に、このライフサイエンス分野でシンガポールと関係を深めていくということが、企業にとってどういうメリットがあるのか、基本的なところで恐縮なんですけれども、御説明いただけますでしょうか。

特区連携担当課長

GCCの会員になるということで現地の企業との提携や取引の機会が生まれるということも一つでございしますが、それ以外にも企業のメリットとして大きく2点あるものと考えております。一つは、医療機器の登録について、シンガポールは米国と同様に、新しい医療機器の使用について認可を得るまでのトータルの期間が日本と比べて短い、その結果、早期に実用化し市場に出すということが可能となります。もう一つは、東南アジア、ASEAN諸国への展開という点でございします。東南アジアでは医療機器などの参入においてシンガポールの影響力が非常に大きいということで、シンガポールで医療機器の認可を得ると他のアジア諸国でのビジネスが非常にしやすくなるというメリットがあると考えております。

小野寺委員

GCCの今年度の海外での活動予定というのはどうなってますでしょうか、現時点で分かっているだけで結構です。

特区連携担当課長

GCCでは米国やシンガポールの他、今年度は米国に次いでライフサイエンス産業の市場が大きいヨーロッパでの展開を予定していると聞いております。先ほどお話ししましたように、ちょうど今GCCのスタッフや会員企業がヨーロッパの主要機関を訪問しているところと承知しています。

また、詳細は未定ですけれども、知事がその後にヨーロッパを訪問する計画がありますので、その際にもGCCも同行するということを想定しているところです。

小野寺委員

GCCは冒頭申し上げましたように、県が主導して国際戦略を強化するエンジンとして設置されたということなんですけれども、今後の事業展開に向けて県としてどのような支援を行っていくのか、教えてください。

特区連携担当課長

今後の知事が行う海外トップセールスにGCCも同行していただくといった中で、行政としての意見が現地での信用の後ろ盾となって、GCCが進める国際展開のための取組を支援してまいります。

また、例えば海外企業と連携したGCC会員企業の県内でのビジネス展開などに対して、特区を活用した支援施策をはじめとして、各種の支援策等を活用していただくためのコーディネートなども行うなどGCCを支援し連携することによって、県の推進するライフサイエンス分野の国際展開の実行機関として中心的な役割を担ってもらうことを期待しているところです。

小野寺委員

先ほど準会員というお話もありましたけれども、県内企業、とりわけその中小企業に有用な情報がしっかりと行き渡るようなそういう活動も実は期待をしています。そういう準会員あるいは会員以外の企業にとっても大変メリットのある業務がたくさんあると思いますので、そういった企業が参加できるセミナーの開催ですとか、これはこれまでも他の委員会でも、他の会派の方も申し上げていることですので、そうした多角的なそういった活動を期待しておりますと申し上げて、私の質問を終わります。